

ケルティック・クリスマス 2025

夜の帳が下りる頃、北の地よりケルトの使者たちは集い
あなたの今年一番の宴が完成するであろう

From Ireland

From Canada



シャロン・シャノン
(アコーディオン、フィドル)
写真:石田昌雄



From Ireland
リアム・オ・メンリィ
(ヴォーカル、ピアノ、バウロン)



ザ・ステップクルー・トップ3
with ダン・ステイシー
(ダンス、フィドル)
写真:石田昌雄

2025 **11.30** 日 16:00開演 [15:15開場] 東海市芸術劇場 大ホール
※やむを得ない事情により、出演者・内容等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
名鉄「太田川」駅南改札口すぐ

Ticket 一般
<全席指定>
●未就学児入場不可
5,000円
小中高生 **1,000円**
ユウナルフレンドメンバーズ
プラチナ会員割引価格
一般 **4,500円**
小中高生 **900円**

発売日
先行 8月17日[日] 9:00~
●ユウナルフレンドメンバーズプラチナ会員対象
一般 8月24日[日] 9:00~
●チケットぴあの初日は10:00~

◆芸術劇場事務局 9:00~20:00 ※休館日除く
◆芸術劇場HP 24時間受付 ※発売初日は9:00~
<https://www.tokai-arts.jp>
■会員登録(有料または無料)が必要です。■電子チケットもご利用いただけます。
◆チケットぴあ[Pコード 288-573] <https://t.pia.jp/>
■8月24日(日)10:00から発売開始 ■お近くのセブン・イレブン各店舗でも直接お買い求めいただけます。



関連トークイベント

ピーター・バラカンが語るアイリッシュ文化の魅力

2025年11月3日(月・祝) 15:00[14:30開場] 多目的ホール

8月17日(日) 9:00より入場整理券を配布

※未就学児入場不可
※詳しくは、チラシ裏面またはホームページをご確認ください。

全席指定 | 入場無料
(要入場整理券)

出演:ピーター・バラカン
(ブロードキャスター)



東海市芸術劇場 TEL 0562-38-7030

〒477-0031 愛知県東海市大田町下浜田1016番地

主催 | 東海市・東海市教育委員会

後援 |



Ambasáid na hÉireann | An tSeapáin
Embassy of Ireland | Japan
アイルランド大使館 | 日本

招聘 | ブラントン

【お車で来場のお客様へ】地下駐車場または太田川駅東公共駐車場をご利用ください。(施設ご利用者は入庫から2時間まで無料)

託児サービス | [1歳以上の未就学児、定員10名] 公演日の1週間前までに劇場事務局または劇場HPにてお申込みください。

お問合せ



公式エックス
@tokai_theatre



公式ホームページ
<https://www.tokai-arts.jp>

館長兼芸術総監督おすすめコメント

ケルティック・クリスマスは今回3回目を迎えますが、毎回アーティストも多種多様でひとつの文化の懐の深さを感じています。また、「文化芸術」とよく言いますが、ケルトの文化と芸術の結びつきは切り離せないものだとも感じています。しかし何と申しまして一番圧倒されるのはそのエネルギーです。静と動、聖と俗、哀と歓など両極のエネルギーと表現を湛えているのもケルト文化の特徴と感じるのは私だけでしょうか。今回はこのジャンルに造詣の深いピーター・バラカンさんの事前トークもあるので色々なお話をうかがうことが出来るのも楽しみのひとつです。そして、本公演ではなんと3つの、しかも各々が名実ともにケルティック・カルチャーの代表格とも言えるアーティストが登場いたします。どうぞこの宴に皆様ご参加ください。

東海市芸術劇場 館長兼芸術総監督 安江正也

シャロン・シャノン Sharon Shannon (アコーディオン、フィドル)

with ジム・マレー Jim Murray (ギター)、キリアン・シャノン Killian Shannon (バンジョー)

アイルランド／ケルト音楽を代表する人気・実力ナンバー1のアコーディオン奏者。10代半ばにはすでに腕利きのプレイヤーとして活躍。スコットランドのロックバンド「ウォーター・ボーイズ」のメンバーとして活動を経て、1991年にソロ・デビュー。抜群のドライブ感と爽やかな音色でアイリッシュ・ミュージック・シーンに旋風を巻き起こした。ケルト以外にもカントリー、アフリカ、クラシックなど他ジャンルとのコラボレーションも活発に行う。これまでに、ボノ&アダム・クレイトン(U2)、ジャクソン・ブラウン、ウィリー・ネルソン(グラミー受賞カントリー歌手)、ジョン・ブライン(グラミー受賞カントリー歌手)、アリソン・クラウス(グラミー受賞カントリー歌手)、デニス・ボーヴェル(レゲエの大物プロデューサー)などと共演。2008年にシングル「ゴールウェイ・ガール」がトリプル・プラチナム獲得と、年間ダウンロード最多記録をたたき出した。同年23年間に渡る音楽界への貢献が認められ、アイルランドで最も栄誉ある「メテオラ・ミュージック・アワードの生涯功労賞」を史上最年少で受賞。1996年に初来日、その後もコンスタントに来日。2013・2019年のケルティック・クリスマスのメイン・アクトで出演した。

リアム・オ・メンリイ Liam Ó Maonlaí (ヴォーカル、ピアノ、バウロン)

U2のボノが“世界一のホワイト・ソウル・シンガー”と評した、アイルランドを代表するカリスマ・シンガー。

80年代後半にダブリンのロック・バンド、ホットハウス・フラワーズのフロントマン(ヴォーカル、ピアノ、作詞作曲)として活躍。アイリッシュ・ミュージックとソウル/R&Bを融合させたソウルフルなヴォーカルと、スポンテニアスなライブ・パフォーマンスで世界中で人気を得る。

アイルランドの伝統打楽器、バウロンの名手であり、アイルランドのゲール語で歌う伝統音楽のシンガー、アイリッシュ・ハーブ奏者でもある。バンド活動の傍らソロでも活動。ジャンルや国籍を越えて、これまでにマリ、インド、チベット、中国、オーストラリアのアボリジニ、アメリカのネイティブ・アメリカンの音楽家とも交流。

1998年と2014年のケルティック・クリスマスに出演。2001・2018年にホットハウス・フラワーズとして、2019年にソロでフジロック・フェスティバルに出演した。

ザ・ステップクルー・トップ3 with ダン・ステイシー THE STEPCREW TOP3 with Dan Stacey

● キャラ・バトラー Cara Butler (ダンス)

● ジョン・ピラツキ Jon Pilatzke (オタワヴァレー・ステップ・ダンス、フィドル)

● ネイサン・ピラツキ Nathan Pilatzke (オタワヴァレー・ステップ・ダンス)

● ダン・ステイシー Dan Stacey (オタワヴァレー・ステップ・ダンス、フィドル)

アイリッシュ・ダンスとタップ・ダンスを融合させた、カナダのオタワヴァレー・スタイルのダンス・チーム「ザ・ステップクルー」や、それぞれがソロでもアイルランド／ケルト音楽のバンド(チーフタンズ、アルタン、ダーヴィッシュなど)のダンサーとしても活躍する超一級のトップ・ダンサーたち。

メンバーの4人は誰もがアイリッシュ・ダンスやステップ・ダンスの世界大会を総なめにする元チャンピオンであり、ジョンとダンはフィドラーとして、個々でも輝かしい実績をもち世界中で活躍。

関連トークイベント

ピーター・バラカンが語る アイリッシュ文化の魅力

ブロードキャスター、DJ、音楽評論家として活躍する、ピーター・バラカン氏を迎えて、世界中を魅了し続ける「アイルランド音楽」の魅力や、「ケルティック・クリスマス2025」の出演者や見どころなどを解説します。

2025年11月3日(月・祝) 15:00開演[14:30開場]

東海市芸術劇場 多目的ホール

出演:ピーター・バラカン(ブロードキャスター)

全席指定 | 入場無料
(要入場整理券)

ピーター・バラカンさんから推薦コメント

毎年ケルティック・クリスマスの会場で早くも翌年のライン・アップが発表されます。それを見て、今こそシャロン・シャノンかな、といつも同じ期待が沸きます。彼女の魔法のアコーディオンとの出会いからもう30年近く経ちますが、シャロンほど無条件で幸せな気分してくれるミュージシャンは稀です。今回はコロナ禍も影響してか6年ぶりの来日となるのでそろそろ禁断症状も起きています。アイルランド西部ゴールウェイ出身の彼女はテキサスのシンガー・ソングライター、スティーヴ・アールの2000年の名曲「ゴールウェイ・ガール」に参加し、また2008年にそれをカヴァーしたアイルランドのマンディとの共演はアイルランドで大ヒットして、それまで若干淡泊な存在だったシャロンは今やスターです。小型のボタン式アコーディオンを座って演奏する姿は一見おとなしいものですが、そこに秘められるエネルギーはすごい。今年のケルティック・クリスマスに出るリアム・オ・メンリイも個性的で素晴らしい歌手で、彼の歌はじっくり聞きたいです。でも、わくわく感があるのは、ぼくの場合はシャロン・シャノンです。今年はとにかく魅力ある出演者が並んでいてとても楽しみです。

8月17日(日)9:00より劇場事務室にて入場整理券を配布します。

※未就学児入場不可 ※整理券は、お一人様2枚まで、指定席(席は選べません)